



健康分野における 公民連携事例集

大阪府は企業等と連携し、
府民のみなさまの健康を応援します！

大阪府健康医療部健康推進室



はじめに

少子高齢化、人口減少などを背景として、今や行政だけでさまざまな社会課題を解決できる時代ではなくなっており、企業・大学との幅広い連携やネットワークによって社会を支えていくことが不可欠になっています。

大阪府では、平成27年4月、企業・大学のワンストップ窓口として「公民戦略連携デスク」を設置し、企業・大学と府庁内の各担当部局の連携をコーディネートし、府民の健康づくりや子ども・教育、雇用、地域社会の安全・安心につながる連携の取組みを積極的に進めてきました。

健康医療部健康推進室においても、公民戦略連携デスクと連携し、「健康・医療」の分野において、企業・大学と協力、連携し、府民の健康の保持・増進に向けた取組みを進めています。

本冊子では、健康・医療分野における連携をご検討いただいている企業の皆様の参考としていただくため、これまでの取組みの一例について、健康推進室で取り組んでいる事業と併せてご紹介します。

目次

- P4 1 大阪府における公民連携について
- P6 2 健康推進室における取組み紹介
- P8 A 健活10
 - ・企業主催イベントで健活10をPR
 - ・企業主催で健活10に関するイベントを開催
- P9 B がん予防、がん教育
 - ・共同でがん検診セミナーを開催
 - ・企業所有のラジオ番組内でがん検診の普及啓発する場を提供
- P10 C 歯と口の健康づくり
 - ・企業主催のセミナー開催で歯間部清掃具の啓発
 - ・POP作成及び店舗での掲出
- P11 D 食、栄養
 - ・府主催イベントへブース出展
 - ・共同でヘルシーメニュー開発
- P12 E 禁煙、受動喫煙防止
 - ・府職員による大学でのセミナー開催
 - ・企業店舗での普及啓発
- P13 F 肝炎・肝がん
 - ・社員によるリーフレット配布
 - ・企業店舗での普及啓発
- P14 G 働く世代からのフレイル予防
 - ・薬局へのポスター配布
- P15 H 特定健診・特定保健指導
- P16 3 おおさか健活マイレージ「アスマイル」(健康アプリ)
- P17 4 健活おおさか推進府民会議
- P18 5 公民連携にあたっての手続き
- P20 6 事業連携協定・包括連携協定締結企業等一覧
- P24 (参考) 大阪府における企業等の健康づくり支援
 - ・健康経営セミナー
 - ・健康づくりアワード

1 大阪府における公民連携について

(1) 大阪府がめざす公民連携の姿

ア 双方の強みを生かした連携

- ・スピード感や社会変化への対応力、多様な資源といった企業の強みと、信頼性・信用性や公共性、安定性・継続性といった行政の強みを束ね、新しい価値を生み出します。

イ 府民、企業等、行政にとっての「三方よし」

- ・近年、企業の社会的責任として取り組む従来の社会貢献活動である、いわゆるCSR (Corporate Social Responsibility) だけでなく、人口減少や高齢化といった社会の共通課題に対して、企業の本業を通じて解決に取り組むCSV (Creating Shared Value)、いわゆる「共有価値の創造」が広がっています。
- ・CSVは、企業が行政と連携することによって、本業の売り上げの増加や、企業価値の向上をめざすことを指した連携手法とも言えます。
- ・公民戦略連携デスクでは、この新たな潮流となりつつあるCSVに着目し、「府民よし、企業等よし、行政よし」のいわゆる『三方よし』によって、公民連携を進めていくことをめざします。

(2) 原則

① 対等の原則

- ・提案の実現に向け、対等なパートナーとして信頼関係を築きます。

② 対話の原則

- ・府民サービスの向上につながる連携となるよう、対話を重視します。

③ 目標共有の原則

- ・目標を共有し、その中でお互いのメリットを見だし、互恵的な関係を構築します。

④ 公平性確保の原則

- ・全ての企業等に、府への提案の機会を確保します。

⑤ 透明性確保とアイデア保護の原則

- ・連携事業は、オープンな過程の中で進めることを基本とし、実現した取組みについては、その内容を広く社会に開示することで、新たな取組みが広がるよう促します。
- ・寄せられた提案のうち、事業の検討段階における独自のアイデアについては、保護します。
※大阪府情報公開条例との関係について
大阪府が事務過程で作成・取得した文書については、情報公開請求の対象となります。
企業等との連携のために府が作成・取得した文書が情報公開請求を受けた場合は、該当する企業・大学等の意見を踏まえながら、大阪府情報公開条例に基づき適切に対応します。

(3) 視点

① 府民・利用者の視点

- ・企業等との連携の中で、「府民サービスの向上」に資する取組みをめざします。
- ・また、良質なサービスが継続的に実施できるよう、持続可能な連携を進めます。

② 地域・社会の視点

- ・事業が直接的にもたらす効果のみならず、新たな価値創造や府民・地域社会に及ぼす影響についても考慮し、地域社会の活性化と府民サービスの向上に資するよう取組みを推進します。

③ 成長・発展の視点

- ・対話を通じて、行政側の知識向上や意識改革などを図ります。
- ・行政との連携を通じて、企業等の成長につながる事業構築を目指します。
- ・先進性のある取組みについては、公民連携での実施を積極的に推進します。

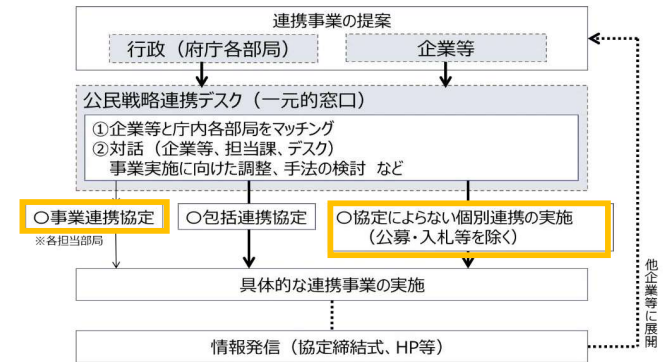
④ 財務の視点

- ・事業実施における費用対効果を重視し、取組みを推進します。

(4) 公民連携の手法について

連携事業の実施に際しては、連携分野の幅広さや事業の内容によって、包括連携協定や事業連携協定を締結する場合があります。

本事例集では、担当部局が窓口になる「事業連携協定を締結しての連携」及び「協定によらない個別連携」を中心にご紹介します。



連携の手法	窓口	特徴
協定によらない 個別連携 (公募・入札等を除く)	各担当 部局	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な取組みに限らず、短期的な取組みも実施します。 ・協定によらず、特定の分野において、連携した取組みを実施することとします。
事業連携協定	各担当 部局	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の分野における連携を、中長期的に継続して実施することを明文化するために締結します。 ・「府民の健康づくり」「中小企業振興」「高齢者の見守り」「防災」など、個別政策分野での連携を目的に締結するものです。
包括連携協定	公民戦略 連携デスク	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生などを通じて個性豊かで魅力ある地域社会の実現に向けた取組みが進む中、府が企業等と連携・協働した活動・研究をより一層深化させることを目的に締結するものです。 ・府政の幅広い分野における連携を、中長期的に継続して実施することを明文化するために締結します。 ・締結にあたっては、幅広い連携があり(概ね、「防災・防犯」「福祉」「環境」など5以上の分野において、具体的な連携による取組みが合計10項目以上あること)、かつ、その企業等の強みを生かした取組みを実施することとします。

【抜粋】大阪府 公民戦略連携デスクHP 「大阪府公民連携ガイドライン (令和4年4月改訂)」
<https://www.pref.osaka.lg.jp/gyokaku/kohmin/kouminrenkeiguide.html>

2 健康推進室における取組み紹介（連携した取

これまでに当室において取り組んだ公民連携を体系的に整理すると以下のようになります。

連携分野	連携内容	① イベント開催 ブース出展	② セミナー開催 講師派遣
A 健活10		<ul style="list-style-type: none"> ・企業主催イベントで健活10（※1）のブース出展もしくは健活10をPR【P8】 ・企業主催で健活10に関するイベントを開催【P8】 	-
B がん予防、 がん教育		<ul style="list-style-type: none"> ・企業主催イベントでがん対策に関するブース出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同でがん検診セミナーを開催【P9】 ・府主催のがんに関する研修会への講師派遣
C 歯と口の健康づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・府主催のイベントで体験型のコーナーを設置（ブース出展） 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業主催の歯間清掃具を用いた口腔ケアセミナーを実施【P10】
D 食、栄養		<ul style="list-style-type: none"> ・府主催イベントでV.O.S.（※2）を普及啓発する企業ブース出展【P11】 ・スーパーマーケット店舗でV.O.S.を普及啓発するコーナー設置 	-
E 禁煙、 受動喫煙防止		-	<ul style="list-style-type: none"> ・府職員による大学でのセミナー開催【P12】
F 肝炎、肝がん		-	-
G 働く世代の フレイル予防		-	-
H 特定健診・ 特定保健指導		-	-

※1 健活10〈ケンカツテン〉：生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、府民に取り組んで
 ※2 V.O.S.：野菜・油・塩の量に配慮したヘルシーメニューのこと

組みの一部を紹介)

③ ポスター掲示、 デジタルサイネージ放映、 チラシの配布	④ もの・サービス提供
<ul style="list-style-type: none"> ・企業主催イベントで健活10チラシ配布 ・企業所有のサイネージで健活10動画放映 	<ul style="list-style-type: none"> ・健活10イベント（健活ワクワクEXPO等）の会場を提供
<ul style="list-style-type: none"> ・社員によるがん検診に関するチラシ配布 ・企業誌や府民向け冊子、広報誌で、がん検診に関する記事掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同実施するキャンペーン内の商品売上の一部を大阪府がん対策基金へ寄附【P9】 ・企業所有のラジオ番組内でがん検診の普及啓発する場を提供【P9】
<ul style="list-style-type: none"> ・企業所有のサイネージで、「歯と口の健康週間」を啓発 ・企業誌において、歯と口の健康を普及啓発 ・企業と連携したPOP作成、企業店頭での掲出【P10】 	<ul style="list-style-type: none"> ・府主催イベントにおいて、歯間清掃具を協賛品として提供
<ul style="list-style-type: none"> ・共同でV.O.S.レシピ掲載冊子を作成 ・企業所有のサイネージで「大阪府食育推進強化習慣」を普及啓発 ・V.O.S.や大阪産のポスターやポップを作成し、スーパーマーケットの店頭で掲出 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同でV.O.S.レシピ等の開発【P11】 ・企業によるV.O.S.メニューの販売 ・府主催イベントにおいて試供品等を提供
<ul style="list-style-type: none"> ・企業店頭モニターにて受動喫煙防止に関する動画の放映【P.12】 ・企業誌において、受動喫煙防止に関する記事掲載 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・社員による肝炎・肝がんに関するチラシ配布【P13】 ・企業所有サイネージで肝炎・肝がんを普及啓発【P13】 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・薬局へのポスター配布【P14】 	-
-	-

いただきたい「10の健康づくり活動」のこと

2 健康推進室における取り組み紹介（連携カテゴ

A 健活10 <ケンカツテン>

大阪府では、府民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組んでいってもらえるよう、『健活10』というキャッチコピーを掲げ、府民の健康づくりを推進しています。

※健活10：生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、みなさんに取り組んでいただきたい10の健康づくり活動のこと



【HP】 <https://kenkatsu10.jp/>

A-① 企業主催イベントで健活10をPR

連携企業	株式会社キリン堂、 キリンビバレッジ株式会社
実施時期	令和4年4月～令和5年2月
連携内容	「みんなでやるで！健活10」キャンペーンの実施 ①キリン堂店舗で実施する健康フェアにおいて、「健活10」や「アスマイル」（※P16参照）のチラシを配布 ②府内のキリン堂店舗で販売される「プラズマ乳酸菌」を使用した「IMUSE」ブランドなどのキリンビバレッジの商品の売り上げ1本につき2円を大阪府がん対策基金へ寄付
関連HP	https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kyouteisho/r/enkeibento04.html



<健康フェアの様子>



<共同作成したPOP>

A-① 企業主催で健活10に関するイベントを開催

連携企業	株式会社F.C.大阪
実施時期	平成30年9月2日
連携内容	①「大阪府SDGs・健活10スペシャルマッチデー/FC大阪対MIOびわこ滋賀」の開催 ②ブースにおける健活10の缶バッジの配布などの啓発 ③ご来場の皆様にご協力いただいた募金及び試合の売上金を「大阪府がん対策基金」に寄付
関連HP	https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kyouteisho/r/enkeibento30.html



<出展ブース>



<FC大阪の選手と記念撮影>

リー別)

※近年実施した事例を中心に、連携事例の一部を掲載しています。

B がん予防、がん検診

大阪府では、全国でも低い状況にあるがん検診受診率向上を目標に掲げ、府民の方に正しいがんの知識を知っていただき、検診受診へとつなげるために、市町村や民間企業等とも連携したがん検診啓発の取り組みを進めています。

【HP】 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/gankenshin/index.html>

B-② 共同でがん検診セミナーを開催

連携企業	アストラゼネカ株式会社
実施時期	令和3年9月13日
連携内容	共催セミナーを開催（WEB） （目的） コロナ禍であっても継続したがん検診や医療機関への受診の必要性を知ってもらう （内容） ①コロナ禍における全国のがん検診最新動向（中山富雄先生（国立がん研究センター）） ②トークセッション「コロナ禍におけるがん早期発見の重要性（罹患者やそのご家族の体験談）」（東ちづるさんとつるの剛士さん）※MC：清水健さん
関連HP	https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kyouteisho/r/enkeibento03.html



<実施したセミナー>



<主催者記念写真>

B-④ 企業提供のラジオ番組内でがん検診の普及啓発する場を提供

連携企業	小野薬品工業株式会社
実施時期	令和3年度～
連携内容	小野薬品工業株式会社（※1）が提供するラジオ番組「元氣出してゆこう！てっちゃんねる」（※2）の中での啓発 （内容） ①大阪府から、がんの正しい知識の普及やがん検診の受診を広く啓発するためのメッセージを発信 ②てっちゃんねるの番組CM内でもがん検診をはじめとする健康づくりに関する情報を発信 ※1 社員のがん検診受診率が90%以上 ※2 毎週月曜日17：30～17：45 ラジオ大阪にて放映中 YouTubeでも全て視聴可 https://tetsugenki.jp/
関連HP	https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kyouteisho/r/enkeibento03.html



<収録の様子>


C 歯と口の健康づくり

大阪府では「大阪府歯科口腔保健計画」に基づき市町村、関係団体と連携し、歯と口の健康づくりの推進に取り組んでいます。



「歯っけよい 残った 8020(はちまるにいます)」とは、大阪府歯科口腔保健計画の標語です。80歳になっても20本以上自分の歯を持つこと(8020(はちまるにいます))で、自分の歯で食べて味わうことにより、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現できるよう、府民一人一人が歯と口の健康づくりに取り組むことで、出来る限り自分の歯を残すことを目指します。

【HP】 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/hanokenkou/>

C-② 企業主催のセミナー開催で歯間部清掃の啓発

連携企業	小林製薬株式会社	 <p><セミナーの様子></p>
実施時期	令和元年10月19日	
連携内容	大阪府歯科医師会、大阪府歯科衛生士会、大阪いずみ市民生活協同組合との連携により、2019コープフェスタin岸和田で「健口(けんこう)セミナー」を開催 ①歯科衛生士による親子で学び・体験する口腔ケアセミナーを実施 ②歯科衛生士会推奨歯ブラシと小林製薬の歯間部清掃製品を使用し、歯科衛生士による歯みがき指導を実施	
関連HP	—	

C-③ POP作成及び店頭での掲出

連携企業	株式会社ロツテ	 <p><売り場の様子></p>  <p><POPデザイン></p>
実施時期	令和3年度～	
連携内容	①「大阪府の歯と口に関する取組み」に関するポップ広告の作成 ②スーパーマーケットの売り場などに掲出	
関連HP	https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kyouteisho/enkeibento04.html	

D 食・栄養

大阪府民においては、野菜摂取量や朝食摂取状況等、若い世代ほど課題が多く見られます。また、65歳以上のたんぱく質摂取量と体格の関連を見ると、やせの人だけでなく肥満の人でも、たんぱく質の摂取量が不足している人が見られます。


大阪府では、夏休みで生活習慣が乱れやすい8月を「大阪府食育推進強化月間」、毎月19日の食育の日を「野菜バリバリ朝食モリモリ推進の日」と定め、食育イベントの開催等、重点的な取り組みを行っています。

また、飲食店や惣菜店、スーパーマーケット等の外食メニューや持ち帰り弁当、学生食堂や従業員食堂等の給食施設で提供されるメニューに野菜・油・塩の量に配慮したヘルシーメニュー「V.O.S.」の普及を図っています。



※V.O.S.: 主食とおかずを組み合わせたもので、1食あたりの野菜・油・塩の基準を満たすものです。

【HP】 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/syokuiku/index.html>

D-① 府主催イベントへブース出展

連携企業	カゴメ株式会社	 <p><出展ブースの様子></p>
実施時期	令和4年10月8日	
連携内容	府主催のイベント「健活ワクワクEXPO(阪急うめだホール)」における協力 ①ブース出展(手のひらのカロテノイド量から野菜摂取量を推定する機器ベジチェックによる食事診断、野菜マエストロ検定の紹介) ②食育クイズ大会への出演及び景品の提供	
関連HP	https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kyouteisho/renkeiibento04.html	

D-④ 共同でヘルシーメニュー開発


連携大学	関西大学	 <p><開発したメニュー></p>  <p><タカシマヤでの販売の様子></p>
実施時期	令和元年11月13日～11月26日	
連携内容	関西大学、高島屋との産学官連携によるヘルシーメニュー『大阪ええもん 関大Vグルメ』を開発・販売 ①関西大学社会学部池内裕美研究室と連携して、大阪府民に健康づくりのVictoryを目指してほしいという思いから、3種のVegetableグルメメニューを開発 ②高島屋大阪店で販売	
関連HP	https://kenkatsu10.jp/post-458/	

E 禁煙、受動喫煙防止対策


大阪府では、「健康増進法」や「大阪府受動喫煙防止条例」に基づき、府民の健康を守るため、望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりを進めています。制度内容や府の支援制度における周知啓発については、民間の事業者の協力を得ながら取り組んでいます。

【HP】 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/judoukitsuen/>

E-② 府職員による大学でのセミナー開催

連携大学	大阪大学	 <p><セミナーの様子></p>
実施時期	令和元年11月27日	
連携内容	大阪大学が学生等に対するオープンセミナーを開催 (内容) 大阪府における受動喫煙防止対策について (講師) 大阪府健康づくり課職員	
関連HP	—	

E-③ 企業店舗での普及啓発

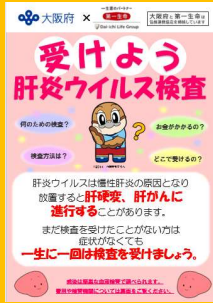
連携企業	日産大阪販売株式会社	 <p><放映の様子></p>
実施時期	令和2年度～	
連携内容	日産大阪販売株式会社の店頭（5店舗）に設置しているデジタルサイネージにおいて、受動喫煙防止対策に係る動画を放映	
関連HP	—	

F 肝炎・肝がん


大阪府では、肝疾患についての正しい知識の普及と予防の重要性についての認識を高めることを目的として、府内の肝疾患診療連携拠点病院と連携しながら肝炎ウイルス検査の受検勧奨をはじめとした啓発活動に取り組んでいます。

【HP】 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kanentaisaku/index.html>

F-③ 社員によるチラシ配布

連携企業	第一生命保険株式会社	 <p><啓発チラシ></p>
実施時期	令和4年9月～	
連携内容	保険外交員が府域の顧客に対して、肝炎ウイルス検査受検勧奨チラシを配布（約2,500人）	
関連HP	—	

F-③ 企業店舗での普及啓発

連携企業	大阪信用金庫	 <p><放映画像></p>
実施時期	令和4年6月～（肝臓週間に合わせて実施）	
連携内容	大阪信用金庫の各営業店の店頭に設置されているデジタルサイネージにおいて、肝炎ウイルス検査の受検を勧奨	
関連HP	—	

G 働く世代からのフレイル

「フレイル」は、健康と要介護の中間に位置する状態であり、身体面のみならず精神・心理面、社会面の予備能力の低下を含み、適切な介入により健康な状態に戻ることができる状態のことをさします。

大阪府では、健康寿命の延伸と市町村の健康寿命の差の縮小に向けて、国立健康・栄養研究所と大阪公立大学と連携し、働く世代からのフレイル予防に取り組んでいます。

【HP】 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kenkouzumyouenshin/index.html>

G-③ 薬局へのポスター配布

連携企業	株式会社ケーエスケー
実施時期	令和5年1月～（2月1日のフレイルの日に合わせて実施）
連携内容	健康サポート薬局をはじめ、府内の薬局等へフレイル予防ポスターを配布(1,700枚)
関連HP	—



H 特定健診・特定保健指導

特定健診とは、日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の発症予防のため、40歳から74歳までの方を対象としたメタボリックシンドロームに着目した健診です。生活習慣病のなかでも、肥満、脂質異常症、高血圧、糖尿病、慢性腎臓病、肝疾患等は、新型コロナウイルス感染症の重症化のリスクとなる疾患としても知られています。

特定保健指導とは、特定健診を受診した結果、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートのことです。

例年、大阪府の市町村国保加入者の特定健診受診率及び特定保健指導実施率は、全国と比べて低率かつ低位で推移していることから、受診率と実施率の向上を図り、更なる予防・健康づくり、重症化予防の推進に取り組んでいます。

【HP】 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kokuho/iryouseido/kokuhohokenijigyou.html>

3 おおさか健活マイレージ「アスマイル」(健康アプリ)



大阪府では、健康をサポートするアプリ「アスマイル」を運営しています。このサービスは、18歳以上で、府内在住または企業コードを登録された方なら誰でも参加でき、気軽におトクに健康づくりが始められます。

【HP】 <https://www.asmile.pref.osaka.jp/index.html>



会員数 **32** 万人突破! ※令和4年11月時点

【企業の皆様にご協力いただきたいこと】

①アスマイルの普及啓発への協力

例えば、アスマイルのチラシに企業名を入れて作成していただくことが可能です。ご提供いただいたチラシは、大阪府や市町村等を通じて府民に配布します。このほかにも、ぜひご提案ください。



②広告の掲載(有料)

アスマイルに広告を掲載することができます。健康意識の高い32万人超のアスマイル会員に対し新商品の紹介や、企業のイメージアップを図ることができます。ぜひ広告の掲載をご検討ください。



③ウォーキングコースの提供

ウォーキングコースを歩くことでアスマイルのポイントを貯めることができる機能です。コースを提供していただきましたら、アスマイル会員が足を運びきっかけとなります。

④クーポンの提供

アスマイル会員に対して特にご利用いただきたいサービスなどを、クーポン機能を通じて周知してみませんか。



⑤「健康コラム」の掲載

アスマイルのコンテンツ「健康コラム」に健康づくりに関する記事を無料で掲載し、32万人超のアスマイル会員に読んでいただくことができます。ぜひ健康コラムの掲載をご検討ください。



⑥企業コードの健康経営への活用

企業コードをご登録いただければ、府内に通勤・通学される方もアスマイルを利用し、抽選にも参加できるようになります。従業員等の健康づくりやコミュニケーション活性化のためのウォーキングイベント等にもご利用いただけます。ぜひ企業コードをお申込みください。

4 健活おおさか推進府民会議



【健活おおさか推進府民会議とは】

大阪府では、平成30年10月に、「大阪府健康づくり推進条例」を制定し、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年大阪・関西万博の開催に向けても、府民の健康づくりの気運醸成に取り組んでいます。市町村、事業者、保健医療関係者、医療保険者など“多様な主体の連携・協働”による健康づくりを推進するために、健活おおさか推進府民会議を設立しました。

＜参画状況＞

209団体(令和5年3月6日時点)

＜活動方針＞

【みんなで健活】

健活おおさか推進府民会議では、「健活10」に掲げる健康づくり活動を府民“みんな”に取り組んでもらえるよう働きかけます。

【公民で健活】

健活おおさか推進府民会議では、公民の多様な団体の参加と構成団体の具体的な活動により、健康づくり活動への支援機会を充実します。

【ひろげる健活】

健活おおさか推進府民会議では、構成団体の支援活動を“見える化”し、交流を通じて、連携と協働の輪を広げます。

＜主な活動＞

- 参画団体が一堂に会する総会を開催
- 参画団体間の交流や取組み共有、情報交換を図るイベント等を開催
- 参画団体間の産学官協働により、一体的なプロモーション展開を促進
- ホームページやメーリングリスト等を活用して健活会議や参画団体の情報を発信

【企業の皆様にご協力いただきたいこと】

健活おおさか推進府民会議へ参画(入会)し、健康づくりを推進する“オール大阪体制”の一員として活動をお願いします。

どんなメリットがあるの?

健活会議が主催するイベント等にご参加いただけます。イベント等では団体間の交流を深め、事業のマッチング促進を図るとともに、健康づくりに関連する取組みの事例共有を行うことで、産学官による協働や事業連携が期待できます。また、健康づくりを推進する“オール大阪体制”の一員として認知され、イメージアップにつながります。

どんな団体が入会できるの?

健活会議の趣旨及び活動方針にご賛同いただくとともに、府民の健康づくり活動に取り組んでおり、府内に活動拠点を有する団体が入会できます。

入会方法は?

- ・入会金や会費等はありません。無料で入会いただけます。(入会届出書と誓約書を提出していただきます。)
- ・詳しい参画方法は以下のHPをご覧ください。

【HP】 https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kenkatsu_community/index.html

アスマイルの詳細は、健康推進室国民健康保険課事業推進Gまでお問い合わせください。

電話: 06-6944-7049

MAIL: kokuho@gbox.pref.osaka.lg.jp

5 公民連携にあたっての手続き

(1) 窓口について

健康推進室健康づくり課の公民連携担当が窓口となります。

【連絡先】

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課
 企画・データヘルス推進グループ 公民連携担当
 電話：06-6944-6029 MAIL：kenkodukuri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

(2) 連携実施までの流れ

連携を希望される場合、まずは健康推進室健康づくり課の公民連携担当（上記）へご連絡ください。連携の実施について、庁内で検討いたします。

連携を実施すると判断した場合は、連携内容に応じた健康推進室の事業担当者も交えて、健康推進室と企業等間で連携実現に向けた調整をします。

(3) 事業連携協定締結までの流れ

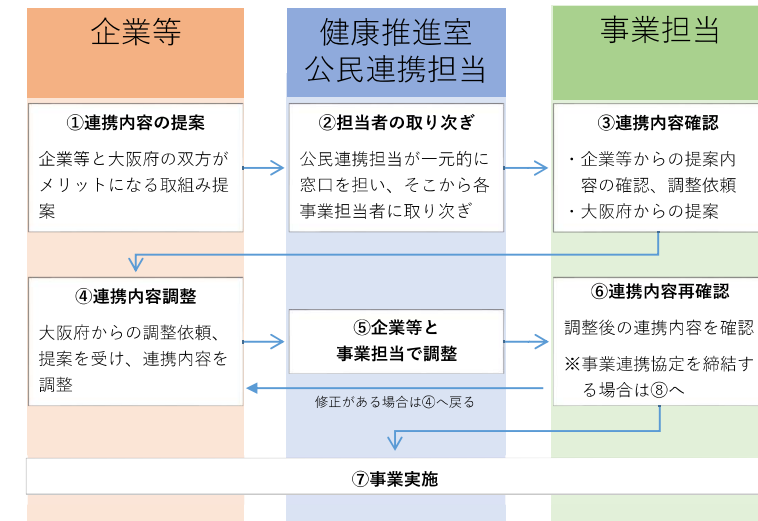
複数の取組みで継続した連携が実施可能な場合は、より深い連携体制の構築のため、健康推進室と企業等間で事業連携協定を締結することがあります。協定については、健康推進室と企業等双方で合意が取れた場合に締結することとします。

※「健康・医療」分野以外の「子ども・教育」や「雇用」「環境」等、他分野の連携を希望する場合や、「包括連携協定」については、「公民戦略連携デスク」までお問い合わせください。

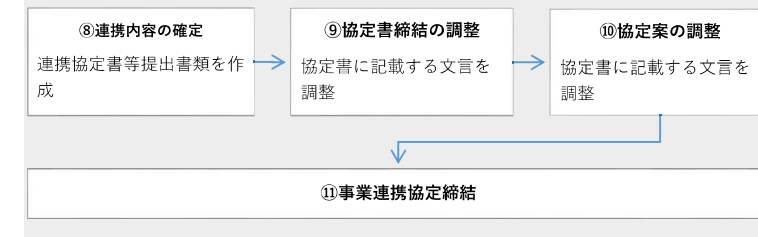
【連絡先】

大阪府財務部行政経営課 公民連携グループ
 電話：06-6944-6401

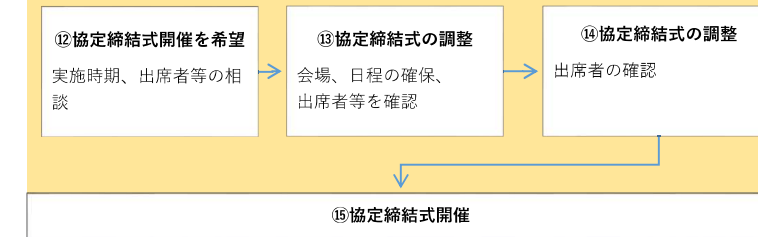
【健康推進室との連携の流れ】



～以下、事業連携協定を締結する場合～



～以下、協定締結式を開催する場合～



6 事業連携協定・包括連携協定締結企業等一覧

事業連携協定締結企業等

健康医療部と健康づくりの推進に関する事業連携協定を締結している企業をご紹介します。
協定内容は健康づくり課の[ホームページ](#)にて公表しています。
※他所属においても、事業連携協定を締結している企業があります。
※事業連携協定に加えて、包括連携協定を締結している企業はP21～23に掲載しています。
※★をつけている項目は協定内で具体的に取組むこととして記載しているものです。

事業連携協定 締結企業等名 (※五十音順)	協定内で連携して取組むこと記載している分野						
	A.	B.	C.	D.	E.	F.	G.
	健活 10	がん予防、 がん教育	歯と口の 健康づくり	食、 栄養	禁煙、 受動喫煙防止	肝炎、 肝がん	働く世代の フレイル対策
アフラック生命保険株式会社		★					
小野薬品工業株式会社	★	★					
協会けんぽ大阪支部							
株式会社ケーエスケー	★	★					
サンスター株式会社関西支店	★		★				
資生堂ジャパン株式会社	★	★					
シャープ株式会社	★			★			
SOMPOひまわり生命保険株式		★	★	★			
中外製薬株式会社大阪支店		★		★			

包括連携協定締結企業等

包括連携協定締結企業（70社4大学）のうち、これまで健康推進室との連携実績のある企業をご紹介します。
各企業との協定内容は公民戦略連携デスクの[ホームページ](#)にて公表しています。
※●をつけている項目は過去に連携実績のある分野です。

包括連携協定 締結企業等名 (※五十音順)	実績連携のある分野						
	A.	B.	C.	D.	E.	F.	G.
	健活 10	がん予防、 がん教育	歯と口の 健康づくり	食、 栄養	禁煙、 受動喫煙防止	肝炎、 肝がん	働く世代の フレイル対策
株式会社アカカベ	●	●			●		
アストラゼネカ株式会社		●					
エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社	●			●			
株式会社F.C.大阪	●	●			●		
大阪いずみ市民生活協同組合	●	●	●	●			
大阪信用金庫	●	●				●	
大阪大学		●		●	●		
大塚製薬株式会社	●			●			
カゴメ株式会社	●			●			
関西大学		●		●			

包括連携協定 締結企業等名 (※五十音順)	実績連携のある分野						
	A.	B.	C.	D.	E.	F.	G.
	健活 10	がん予防、 がん教育	歯と口の 健康づくり	食、栄養	禁煙、 受動喫煙防止	肝炎、 肝がん	働く世代の フレイル対策
株式会社関西ばど	●	●					
株式会社キリン堂	●	●					
キリンビバレッジ株式会社	●	●					
近畿大学		●	●	●	●		
グンゼ株式会社		●					
小林製薬株式会社			●				
住友生命保険株式会社		●					
株式会社セブン・イレブン・ジャパン				●			
損害保険ジャパン株式会社		●		●			
第一生命保険株式会社		●		●		●	
大同生命保険株式会社		●					

包括連携協定 締結企業等名 (※五十音順)	実績連携のある分野						
	A.	B.	C.	D.	E.	F.	G.
	健活 10	がん予防、 がん教育	歯と口の 健康づくり	食、栄養	禁煙、 受動喫煙防止	肝炎、 肝がん	働く世代の フレイル対策
東京海上日動保険株式会社		●					
中西金属工業株式会社	●						
日産大阪販売株式会社	●						
三井不動産株式会社	●	●	●				
日本生命保険相互会社	●	●					
株式会社ハークスレイ	●	●	●	●			
不二製油グループ		●					
明治安田生命保険相互会社	●	●					
立命館大学	●	●		●			
ロート製薬株式会社				●			

(参考) 大阪府における企業等の健康づくり支援

健康経営セミナー

テレワークの推進やウェブ会議などwithコロナの新しい生活様式のもとでの働き方が進む中、従業員の心身の健康を管理する上での新たな課題に対応するため、「健康経営(※)」の重要性がより一層高まっています。

大阪府では、平成30年度から中小企業の「健康経営」をあと押しするための取組みの一環として、全国健康保険協会(協会けんぽ)大阪支部との共催により、中小企業経営者や労務管理者、総務人事担当者などを対象に「健康経営セミナー」を開催しています。

※健康経営：NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

【HP】

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/kenkokeiei/kenkoukueisemina.html>



<セミナーの様子>

健康づくりアワード

大阪府では、企業における健康経営の取組みや、職場や地域での健康づくり活動が、業績や企業価値の向上、地域の活性化につながるものと考えています。

府内におけるこうした自主的・主体的な健康経営や、健康づくり活動の奨励・普及を図ることを目的として平成27年度から「大阪府健康づくりアワード」を実施し、積極的に健康づくり活動を行っている団体を表彰します。

【HP】

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/award/index.html>



<アワード受賞者>

企業・大学のみなさまへ
健康推進室との連携について、ご相談、ご提案がありましたら、
お気軽に以下の連絡先までお問い合わせください。

【連絡先】

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課
企画・データヘルス推進グループ 公民連携担当

電話：06-6944-6029 FAX:06-6944-7262

メールアドレス：kenkodukuri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

ホームページ：<https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/>